

いきなり激戦続出！ 大同は黒星スタート!!

～第32回日本ハンドボールリーグ第1週～

第32回日本ハンドボールリーグは9月22日に開幕、愛知などで第1週・男子4試合、女子3試合が行われ、男子では大同特殊鋼が大崎電気に4点差で苦杯をなめて黒星スタート、湧永製薬-トヨタ紡織九州は両者譲らず引き分けた。女子はオムロンがソニーセミコンダクタ九州に1点差の逆転勝利、北国銀行も後半の猛反撃で広島メイプルレッズから勝ち星を奪った。各チームの気迫あふれる戦いぶりは今後の激しい順位争いを予感させる熱いムードに満ちあふれ、各スタンドが大いに沸いた。

男子は前回王者の大同と3位大崎がオープニングで激突。前半9分3点ビハインドを背負っていた大崎は、GK浦和が好セーブを連発、猪妻らの素早い速攻などで19分には逆に11-8と3点リードを奪い、前半を17-15で折り返した。後半、大同は松林の絶妙なポストプレー、岸川の強打などで10分22-22と同点としたが、大崎はその後も安定した試合運びを展開、終盤試合を決定づけた岩本の2連打や要所を締めたGK濱口の活躍もあって4点差で勝利を握った。

湧永-トヨタ紡織は最後までもつれた。後半11分21-18と3点先行したトヨタ紡織は、その後も村上のサイドなどで優位をキープ。これに対し湧永は15分過ぎに投入されたGK坪根の好セーブ連発で盛り返し、17分23-23の同点に追いついた。1点を争うシーソーゲームはそのまま終盤に突入、28分29-28と1点を追う湧永がトヨタ紡織の攻撃をしのぎ、残り15秒福田がロングを決めて同点。このあとトヨタ紡織も終了間際に7mTを獲得したが、これをGK坪根が身を挺してシャットアウト、29-29のまま試合終了となった。

女子のオムロン-ソニー戦は、前半22分11-9と先行していたオムロンの足が止まり、パスミスなどを繰り返している間にソニーが得意の速攻で猛反撃、郭らの5連取で14-11と逆転して前半を終えた。後半、流れを変えたいオムロンは新鋭の久野を起用。テンポの良いパス回しで攻撃のリズムを取り戻し、GK勝田のファインセーブもあって流れを引き寄せた。残り7分を切ったところでオムロンは22-21と逆転に成功、ソニーも必死に粘って追撃したが、そのままオムロンが逃げ切って開幕戦を勝利で飾った。チーム最多の8得点を奪った水野、再三のピンチを救ったGK勝田の活躍が光った。また、この試合でオムロン・洪が通算300得点を達成した。

メイプルレッズ-北国は前半終盤から菅野に代わって出場したベテラン青戸の攻守にわたる活躍などでメイプルレッズが後半11分20-15とリード。しかし、ここから北国も得意のスピードを活かし、横嶋の速攻、宮前のポストなどで加点、小野澤のカットインも決まって17分20-20の同点とし、このあとは先行する北国をメイプルレッズが追いかける展開に。北国のポストプレーを防げないメイプルレッズは植垣のロング、伊藤のサイドなどで必死に追撃、29分植垣の7mTで26-26の同点とするが、北国はタイムアウト後に野路が決勝のカットインシュートで熱戦に終止符を打った。



開幕戦を勝利で飾った大崎電気・猪妻北国銀行・横嶋

チーム最多の8得点を奪った。チーム最多の8得点を奪った水野、再三のピンチを救ったGK勝田の活躍が光った。また、この試合でオムロン・洪が通算300得点を達成した。

第2週の日程

9月29日(土)・三重・鈴鹿市立体育館(近鉄名古屋線白子駅バス「体育館前」下車徒歩5分)	14:00～(男)	H o n d a × 大 崎 電 気
・京都・京都市体育館(阪急京都線西京極駅徒歩5分)	15:00～(女)	オ ム ロ ン × H C 名 古 屋
・広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00～(女)	広 島 メ イ プ ル レ ヅ × 三 重 バ イ オ レ ッ ト ア イ ス
9月30日(日)・奈良・生駒市市民体育館(近鉄奈良線生駒駅徒歩15分)	13:00～(男)	ト ヨ タ 自 動 車 × ト ヨ タ 車 体
・香川・高松市香川総合体育館(JR高松駅増江方面行きバス「浅野」バス停下車(バス約30分))	13:30～(男)	ト ヨ タ 紡 織 九 州 × 北 陸 電 力
・福岡・福岡市民体育館(地下鉄箱崎線千代田口駅徒歩1分)	14:00～(女)	ソ ニ ー セ ミ コ ン ダ ク タ 九 州 × 北 国 銀 行
	16:00～(男)	豊 田 合 成 × 湧 永 製 薬

三重バイオレットアイリスが日本リーグ初勝利

三重、愛知での3試合も開幕戦にふさわしい激闘。三重バイオレットアイリス - HC名古屋の一戦は、日ごろからテストマッチを繰り返し、手の内を知り合う同士のゲーム。前回リーグでの3戦も2引き分けだった。試合は守護神・毛利の堅守と橋本の好打で抜け出した三重が、後半も流れをつかんで6分18-10と8点リード。名古屋も菅谷のロングなどで19分17-20と3点差まで追いつけたが、三重は伊藤、伏見らの活躍でスパート。加入2シーズン目でうれしい日本リーグ初勝利をマークした。

男子・Honda - 北陸電力の前半は、双方にミスが続き、ロースコアの展開。後半、ようやく足が動いて野嶋、横地らでテンポよく得点を重ねたHondaに対し、北陸電力も神田を中心に懸命に食らいつしたが、HondaのベテランGK四方に要所を締められて一歩及ばなかった。トヨタ車体が新ホームコートのウイングアリーナ刈谷に豊田合成を迎えた一戦は、前回プレーオフ初進出で充実感あふれるトヨタ車体の優位は不動と思われたものの、畠中、ルーキー渡久山ら新旧が一体となって思い切ったチャレンジを見せた豊田合成も譲らない。豊田合成は後半10分、3回目の退場で失格となった畠中を欠いても粘り続け、後半17分24-24のタイスコア。開幕戦ならではの波乱の期待も高まったが、門山、長谷川らが着実にチャンスを活かしたトヨタ車体が終盤で本領発揮、苦しみながらも白星発進となった。

次週は9月29、30日の両日、男子4試合、女子3試合の開催。地元・三重で大崎電気に挑むHondaや福岡でのソニーセミコンダクタ九州 - 北国銀行戦など、開幕戦同様、興味深い激戦必至のカードが組まれている。

9月22日(土) 男子 愛知・中村スポーツセンター	
大崎電気 33 (17-15) 29 1勝0分0敗	大同特殊鋼 0勝0分1敗
2/2 2/6 浦和 K <0/3> 0/3 豊田 荻田 K 5/6 4/7 前田 松林 6/13 0/0 中川 末松 0/0 0/0 佐藤 浦田 0/0 2/2 永島 板垣 0/0 3/4 岩本 武田 2/4 3/3 太田 岸川 2/4 1/1 <1/4> K 濱口 大田 0/0 0/0 岩永 高木 K <0/1> 1/2 東 李才佑 1/3 2/2 7/7 猪妻 千々波 2/3 1/1 望月 山本 1/3 6/11 宮崎 白元喆 7/10 2/3	
4/4 29/46 5(FPP)4 26/46 3/4 審判(家永・福島) 観客 713人	

9月22日(土) 女子 三重・鈴鹿市立体育館	
三重バイオレットアイリス 27 (13-9) 20 1勝0分0敗	HC名古屋 0勝0分1敗
2/2 0/0 横川 近藤 K <0/3> 2/3 桂 佐藤 3/10 2/4 石黒 宮田 3/5 2/4 宮下 菅谷 3/7 1/1 0/0 菊池 羽出重 1/5 1/4 谷口 高本 橋 1/2 1/1 4/6 伏見 高本 橋 1/6 0/1 2/2 6/6 橋本寛 高橋 0/0 1/1 0/0 野中 家城 K <0/3> K 毛利 秋山 4/8 2/3 星野 水野 3/6 1/1 小川 徳永 K <1/2> K 森 田	
6/6 21/36 2(FPP)9 19/49 1/2 審判(坪井・河合) 観客 365人	

9月22日(土) 男子 三重・鈴鹿市立体育館	
Honda 28 (11-9) 21 1勝0分0敗	北陸電力 0勝0分1敗
2/3 中谷 高橋 1/4 2/7 鶴見 神田 8/19 2/2 0/0 柳本 落合 2/5 3/4 河瀬 桜井 2/10 1/2 5/8 竹地 前田 2/7 1/7 横地 高田 3/5 2/3 伊藤 杉村 1/2 0/1 1/2 3/6 高見 北村 0/0 0/0 青山 大谷 0/0 0/0 谷口 表 0/0 <1/2> K 吉村 安藤 K <1/3> 7/11 野嶋 山原 1/5 K 吉井 亀田 0/0 <1/1> K 四方 有江 0/0	
3/4 25/49 14(FPP)9 20/57 1/3 審判(多田・中館) 観客 365人	

9月22日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター	
北国銀行 27 (12-15) 26 1勝0分0敗	広島メイプルレッズ 0勝0分1敗
<0/1> K 木澤 高森 K <2/5> 0/0 内平 土屋 0/1 1/2 3/11 上町 青戸 1/2 3/5 宮前 大前 6/7 0/0 佐久川 植垣 3/12 6/6 0/0 新野 菅野 3/5 7/8 小野澤 坪井 0/0 4/6 横嶋 伊藤 1/1 4/5 野路良 坂口 3/4 2/3 2/6 武井 亟々 K <0/5> K 田代 安齋 1/1 0/0 仲宗根 石山 0/0 0/0 井上 金鎮順 2/14 1/2 若松 江頭 K	
3/5 24/43 11(FPP)14 20/47 6/6 審判(安田・永春) 観客 633人	

9月22日(土) 男子 広島・東区スポーツセンター	
湧永製菓 29 (14-14) 29 0勝1分0敗	トヨタ紡織九州 0勝1分0敗
<0/1> K 志水 松野 K <0/1> 3/6 下川 中島 7/11 2/2 山中 村上直 0/1 3/4 福田 植木 1/1 0/0 吉田 村上秀 5/8 2/3 7/10 東 呉相民 8/11 2/3 <1/1> K 坪根 佐久間 1/3 2/2 4/7 新 鶴田 0/0 0/0 今井 阪 2/2 <0/1> K 松村 谷川 K <1/4> 2/5 古家 藤山 1/5 0/0 渡辺 船木 1/1 3/5 山口 泉原 1/2	
4/5 25/41 7(FPP)11 27/45 2/3 審判(仲田・植村) 観客 733人	

9月23日(日) 男子 愛知・ウイングアリーナ刈谷	
トヨタ車体 34 (15-15) 27 1勝0分0敗	豊田合成 0勝0分1敗
<0/3> K 木下 大立 K <2/6> 0/0 田中勝 飛田 0/1 1/1 2/4 高智 黒木 0/0 0/2 安藤 桶谷 6/12 0/1 野村 門野 0/0 3/6 藤田 桑田 1/3 2/4 竹下 大植 1/2 2/3 1/2 北出 渡久山 4/8 4/4 7/9 小沢 中村 6/7 7/9 長谷川 椿原 0/8 <0/1> K 谷井 藏元 0/0 1/2 4/6 香川 畠中 3/7 2/8 崎前 杉田 0/0 7/11 門山 佐藤 2/3	
4/6 30/57 11(FPP)22 23/51 4/4 審判(家永・福島) 観客 780人	

9月24日(月) 女子 熊本・山鹿市総合体育館	
オムロン 25 (11-14) 24 1勝0分0敗	ソニーセミコンダクタ九州 0勝0分1敗
<0/4> K 勝田 中島 K <0/1> 8/9 水野 郭恵静 5/17 3/3 2/4 安心院 長野 4/10 0/1 巻 田中 1/8 0/0 西本 石崎 0/0 2/3 0/0 吉田 工藤 0/1 1/1 3/7 佐久川 亀山 1/4 0/3 坂元 高栖 2/6 1/2 久野 出雲 0/0 4/9 洪廷昊 飛田 K <1/3> <0/1> K 藤間 樋口 2/2 0/0 城内 佐師 0/0 0/0 高田 寺田 4/6 4/13 東濱 東 0/0 2/2	
3/4 22/48 16(FPP)7 19/54 5/5 審判(浦川・石崎) 観客 2053人	

男女個人賞レース 第1週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	10点	(1試合)	1 植 垣 暁 恵 (メイプルレッズ)	9点	(1試合)
2 猪 妻 正 活 (大崎電気)	9点	(1試合)	2 橋 本 寛 子 (バイオレットアイリス)	8点	(1試合)
2 東 慶 一 (湧永製薬)	9点	(1試合)	2 水 野 恵 子 (オムロン)	8点	(1試合)
2 白 元 喆 (大同特殊鋼)	9点	(1試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	8点	(1試合)
5 渡久山 慶一 (豊田合成)	8点	(1試合)	5 小野澤 香理 (北国銀行)	7点	(1試合)
5 神 田 友 和 (北陸電力)	8点	(1試合)	6 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	6点	(1試合)
7 長 谷 川 聖 (トヨタ車体)	7点	(1試合)	7 伏 見 麻 美 子 (バイオレットアイリス)	5点	(1試合)
7 中 畠 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	7点	(1試合)	8 桂 裕 美 子 (バイオレットアイリス)	4点	(1試合)
7 野 嶋 智 次 (Honda)	7点	(1試合)	8 野 路 良 子 (北国銀行)	4点	(1試合)
7 門 山 哲 也 (トヨタ車体)	7点	(1試合)	8 横 嶋 か お る (北国銀行)	4点	(1試合)
11 中 村 晃 己 (豊田合成)	6点	(1試合)	8 寺 田 美 香 (ソニー)	4点	(1試合)
11 新 建 二 (湧永製薬)	6点	(1試合)	8 菅 谷 美 奈 (HC名古屋)	4点	(1試合)
11 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	6点	(1試合)	8 佐 久 川 ひ と み (オムロン)	4点	(1試合)
11 桶 谷 英 則 (豊田合成)	6点	(1試合)	8 秋 山 美 寿 々 (HC名古屋)	4点	(1試合)
11 末 松 誠 (大同特殊鋼)	6点	(1試合)	8 武 井 夏 紀 (北国銀行)	4点	(1試合)
			8 洪 廷 昊 (オムロン)	4点	(1試合)
			8 長 野 か づ さ (ソニー)	4点	(1試合)
			8 上 町 史 織 (北国銀行)	4点	(1試合)
			8 東 濱 裕 子 (オムロン)	4点	(1試合)

フィールド得点賞

1 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	8点	(1試合)	1 水 野 恵 子 (オムロン)	8点	(1試合)
1 神 田 友 和 (北陸電力)	8点	(1試合)	2 小野澤 香理 (北国銀行)	7点	(1試合)
3 猪 妻 正 活 (大崎電気)	7点	(1試合)	3 橋 本 寛 子 (バイオレットアイリス)	6点	(1試合)
3 長 谷 川 聖 (トヨタ車体)	7点	(1試合)	3 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	6点	(1試合)
3 東 慶 一 (湧永製薬)	7点	(1試合)	5 郭 惠 静 (ソニー)	5点	(1試合)
3 白 元 喆 (大同特殊鋼)	7点	(1試合)	6 野 路 良 子 (北国銀行)	4点	(1試合)
3 中 畠 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	7点	(1試合)	6 伏 見 麻 美 子 (バイオレットアイリス)	4点	(1試合)
3 野 嶋 智 次 (Honda)	7点	(1試合)	6 横 嶋 か お る (北国銀行)	4点	(1試合)
3 門 山 哲 也 (トヨタ車体)	7点	(1試合)	6 寺 田 美 香 (ソニー)	4点	(1試合)
10 中 村 晃 己 (豊田合成)	6点	(1試合)	6 秋 山 美 寿 々 (HC名古屋)	4点	(1試合)
10 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	6点	(1試合)	6 洪 廷 昊 (オムロン)	4点	(1試合)
10 桶 谷 英 則 (豊田合成)	6点	(1試合)	6 長 野 か づ さ (ソニー)	4点	(1試合)
10 末 松 誠 (大同特殊鋼)	6点	(1試合)	6 東 濱 裕 子 (オムロン)	4点	(1試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 猪 妻 正 活 (大崎電気)	7点/ 7射 1.000	1 橋 本 寛 子 (バイオレットアイリス)	6点/ 6射 1.000
2 中 村 晃 己 (豊田合成)	6点/ 7射 0.857	2 水 野 恵 子 (オムロン)	8点/ 9射 0.889
3 長 谷 川 聖 (トヨタ車体)	7点/ 9射 0.778	3 小野澤 香理 (北国銀行)	7点/ 8射 0.875
4 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	8点/ 11射 0.727	4 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	6点/ 7射 0.857
5 東 慶 一 (湧永製薬)	7点/ 10射 0.700	5 野 路 良 子 (北国銀行)	4点/ 5射 0.800
5 白 元 喆 (大同特殊鋼)	7点/ 10射 0.700		

7mスロー得点賞

1 渡久山 慶一 (豊田合成)	4点	(1試合)	1 植 垣 暁 恵 (メイプルレッズ)	6点	(1試合)
2 豊 田 賢 治 (大崎電気)	2点	(1試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	3点	(1試合)
2 柳 本 義 文 (Honda)	2点	(1試合)	3 桂 裕 美 子 (バイオレットアイリス)	2点	(1試合)
2 新 建 二 (湧永製薬)	2点	(1試合)	3 橋 本 寛 子 (バイオレットアイリス)	2点	(1試合)
2 猪 妻 正 活 (大崎電気)	2点	(1試合)	3 東 サ ヤ カ (ソニー)	2点	(1試合)
2 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	2点	(1試合)	3 吉 田 祥 子 (オムロン)	2点	(1試合)
2 東 慶 一 (湧永製薬)	2点	(1試合)	3 武 井 夏 紀 (北国銀行)	2点	(1試合)
2 小 沢 勝 利 (トヨタ車体)	2点	(1試合)			
2 白 元 喆 (大同特殊鋼)	2点	(1試合)			

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 坪 根 敏 宏 (湧永製薬)	1本/ 1射 1.000	1 森 田 由 美 (バイオレットアイリス)	1本/ 2射 0.500
1 四 方 篤 (Honda)	1本/ 1射 1.000	2 高 森 妙 子 (メイプルレッズ)	2本/ 5射 0.400
3 吉 村 康 広 (Honda)	1本/ 2射 0.500	3 飛 田 季 実 子 (ソニー)	1本/ 3射 0.333
4 大 立 浩 紀 (豊田合成)	2本/ 6射 0.333		
4 安 藤 功 規 (北陸電力)	1本/ 3射 0.333		

第 32 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表

第1週終了 9月24日

順位	男子	トヨタ車体	Honda	大崎電気	湧永製薬	トヨタ紡織九州	トヨタ自動車	大同特殊鋼	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	トヨタ車体								34 27		1	1	0	0	2	34	27	7
2	H o n d a									28 21	1	1	0	0	2	28	21	7
3	大 崎 電 気							33 29			1	1	0	0	2	33	29	4
4	湧 永 製 薬					29 29					1	0	1	0	1	29	29	0
4	トヨタ紡織九州				29 29						1	0	1	0	1	29	29	0
6	トヨタ自動車										0	0	0	0	0	0	0	0
7	大 同 特 殊 鋼			29 33							1	0	0	1	0	29	33	-4
8	豊 田 合 成	27 34									1	0	0	1	0	27	34	-7
9	北 陸 電 力		21 28								1	0	0	1	0	21	28	-7

順位	女子	三重ハイオレットアイリス	北国銀行	オムロン	広島メイプルレッズ	ソニーセミコンダクタ九州	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	三重ハイオレットアイリス						27 20	1	1	0	0	2	27	20	7
2	北 国 銀 行				27 26			1	1	0	0	2	27	26	1
3	オ ム ロ ン					25 24		1	1	0	0	2	25	24	1
4	広島メイプルレッズ		26 27					1	0	0	1	0	26	27	-1
5	ソニーセミコンダクタ九州			24 25				1	0	0	1	0	24	25	-1
6	H C 名 古 屋	20 27						1	0	0	1	0	20	27	-7

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。